



Yamasshoのネーミングは、長野県の一部地域で男性を「おとしょ」女性を「おんなしょ」と呼ぶことに由来します。

里山や森林が抱える 「課題」と「魅力」に焦点を当て、 新たなビジネスを創出する

Yamassho(やまっしょ)は、2023年、新産業につながるビジネスアイデア創出のために設立された長野市の産学官金連携プロジェクト「NAGANOスマートシティコミッション(NASC/ナスク)」で結成されました。過疎化や高齢化で手入れや活用が難しい山林をどうにかしたい「山主」と「地域」、山林を活用した事業展開を考える「事業者」、山林でさまざまな体験をしたい「ユーザー」をつなぐプラットフォームとして活動を続けています。

実際に山林に入りさまざまな活動をするイベント型プログラム「体験のもり」や、参加者とともに山林の活用方法を考えるワークショップなどを通じ、山林の新たな価値・魅力の創出を図るとともに、地域経済や地域交流の活性化を目指しています。



Yamasshoのビジネスモデル。
「やま」と「ひと」をつなぐプラットフォームとして、課題解決に貢献します。

Yamassho の活動について

Yamasshoは将来にわたって森林が活用されていく社会を目指し、活動についても「急成長」ではなく「地道に長く続けること」を大切にしています。メンバーはそれぞれ会社に勤めたり学校に通いながら、Yamasshoの活動に取り組んでいるため、本業に影響が出ないようにしながら、無理のない範囲で活動に取り組んでいます。

事業としても長く続けることを目指しており、ビジネスとして成立させるために、特定の拠点を持たないことで固定費を抑え、週に1、2回のミーティングはオンラインで行い、イベントなど必要な時にはリアルで集まって活動します。

また、Yamasshoは会社のように特定のリーダーや意思決定者がいません。メンバーそれぞれの意見を集めて活動を決めています。これまでの形にとらわれない、新しい組織の運営にも挑戦しています。



活動への想い

里山や森林が抱える問題を解決するようなビジネスアイデアの創出を目指す有志で結成したのがYamasshoです。メンバーの1人である増田さん（写真右）はかねてより森林を何とかしたいという思いがありました。2019年に起きた令和元年東日本台風災害で、復旧に時間が掛かったのは倒木が原因だと知り、森林に人の手が入らず山がやせてしまうことで、このようなことが起きてしまうという問題意識を強く持ったことが、活動につながっています。

同じように問題意識を持ち、活動する人が全国的に増えていくことで、山林の抱える問題が少しでも解決することを願っています。

長野市の山林で描くアイデアワークショップ (令和6年度長野県立大学 CSI コラボ公開講座)

「やまとひとを、もっとちかくに」をビジョンに掲げるYamasshoですが、幼少の頃から山林との関わりがない若者は少なくありません。そんな若者をはじめ、山林に関わる人を1人でも増やすために、中山間地域の新たな活用方法を考える場として、アイデアワークショップを長野県立大学と連携して行いました。

学生の方や、地域の方が集まり、まずは山林の抱える問題について考えたり、実際に中山間地域で、フィールドワークを実施。その後、山林活用の新しいアイデアについてグループに分かれてワークを行います。様々な意見を出し合いながら、最後にはグループ毎にまとめたアイデアを発表し合いました。



ワークショップでは「Instagramフォトコンテストの開催」や「竪穴式住居型コテージで短期移住体験」など、ワクワクするアイデアが飛び出しました。

新たな視点で山林活用の魅力を再発見！



信更花の里 体験のもり

長野市信更地区の山林に実際に入り、参加者が様々な活動を行うイベント型のプログラムが「体験のもり」です。2024年11月、地域の皆さんの協力、応援もいただきながら、地域の方を講師に迎えた3つのプログラムを実施しました。山林での体験活動を通じて、新たな視点での山林の活用の仕方や、その魅力を再発見し、元気を生み出す地域づくりにつなげていきます。

① 名人に学ぶ薪割り体験教室

立木を伐採から、薪に揃えるまでを体験。実際にチェーンソーや斧を使って、立木を狙った方向へ倒した後、一定の長さに切り揃え、薪割りをしました。目の前で木が倒れていく様子を見たり、実際に体験してわかる薪割りの難しさとその中にある爽快感を感じたりと、貴重な経験になりました。また、会場となった信更花の里のフィールドオーナーから、薪にまつわるお話や山林が抱える問題についてお聞きし、山林と人との関わりについて考えるきっかけになるプログラムでした。



② 信更いっぽの歴史とおやき体験教室



信更いっぽは、地域の女性たちが地域の活性化を願って立ち上げたおやき屋さんです。代表の方からその歴史を教えていただきながら、おやきづくりを体験。具材の切り干し大根とあんこを、参加者自ら生地包み、その場で蒸し器で蒸しました。信更いっぽのおやきはふっくらとやわらかな生地が特徴で、蒸したての美味しいおやきを試食しました。

③ うたび 有旅ワイナリー森の中のワイン教室



有旅ワイナリーは、長野市篠ノ井地区の有旅に開設された長野市初のワイナリーです。ソムリエでもある有旅ワイナリーの代表者から有旅のワインができるまでのお話と、ワインを楽しむための基礎知識を学びながら、木々に囲まれた森の中でワインを開けて、ワインの香りや色の表現を楽しみました。

SDGsの三側面（経済・社会・環境）から見た活動のポイント

経済

次世代森林のビジネス創出

社会

雇用者増加／中山間地域の定住促進

環境

持続可能な森林の保全と活用

<SDGsの三側面>

「誰一人取り残さない」持続可能で
よりよい社会の実現のためには
世界全体の「経済」「社会」「環境」の三側面を調和させ、
統合的に解決することが必要です。

次世代森林ビジネス創出への挑戦

長野圏域の連携市町村は森林に囲まれた自治体が多く、豊富な森林資源の存在は、圏域の特徴の一つとなっています。林業の長期低迷など、全国的に森林に関する課題は山積ですが、森林を多く持つ地域の振興策として、持続可能な森林の保全と活用の仕組みをつくる必要があります。

NASC 実証事業からの展開

NASCでは、新産業につながるビジネスアイデアの創出や、実現可能な事業プランの構築を支援しています。様々なジャンルの企業が自社の強みを活かして自由に手を組み、事業規模や業界の垣根を超えて活躍できるフィールドを提供しています。

NASC：NAGANOスマートシティコミッション
長野市の産学官金連携プロジェクト

担当者の想い

山林を活用してほしいとお考えの山主の皆様、フィールドをお探しの事業者の皆様、Yamasshoのメンバーとして活動してみたいと思った皆様、ぜひ一緒に「やまとひとを、もっとちかくに」を実現しませんか。ご連絡をお待ちしています。



Yamassho
増田さん

関連する長野地域スクラムビジョン連携事業

起業・新規事業創出事業

- ・起業や新規事業創出に関心を持つ者の裾野拡大や仲間づくりのためのイベント等を実施する。
- ・起業や新規事業創出につながる地域課題等（ニーズ）と技術等（シーズ）が出会う場づくりを実施する。

団体 INFORMATION

Yamassho（やまっしょ）

「里山や森林が抱える課題解決につながるビジネスアイデアの創出」というテーマに賛同した有志6名で活動に取り組んでいます。現在は山林と一般の参加者を繋げる「アイデアワークショップ」や「体験のもり」が活動の中心ですが、今後は企業による事業・サービス提供の場として山林を繋げる「実験のもり」の実施も目指しています。



活動報告はnoteからご覧ください。

設立 2023 年
代表者 —
住所 —
MAIL yamassho@googlegroups.com
HP <https://yamassho.com/>
note https://note.com/team_yamassho
Instagram https://www.instagram.com/team_yamassho/

～ 「ながの」の未来にむけて、今できること ～

「ながのSDGs information」では、長野地域連携中枢都市圏9市町村（長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・小川村・飯綱町）にある企業や団体のSDGsに関する取組を紹介しています。圏域間のパートナーシップや取組を通して、持続可能なまちづくりを推進していきます。

他の記事は
こちら



*長野市は、「SDGs未来都市」に認定されています。
「環境共生都市『ながの』の実現」を目指して活動に取り組んでいます。
…「SDGs未来都市」とはSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として、国（内閣府）が選定するものです。

詳細ページは
こちら



〈発行〉令和7年3月
長野地域連携中枢都市圏 事務局
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL:026-224-5010 FAX:026-224-5103